

2024年1月 教会行事予定表		
曜	午前	午後
1 月	ミサ 10:00 神の母聖マリア (祭) 世界平和の日	
2 火	ミサ 10:00	
3 水	ミサ 10:00	
4 木		
5 金		
6 土	掃除：楽山	
7 日	ミサ9:30 (典礼：蘭岳) 運営委員会	
8 月		
9 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
10 水		
11 木		
12 金		キリスト教講座①18:30
13 土	ミサ 10:00 キリスト教講座②ミサ後 掃除：楽山	
14 日	集会祭儀 9:30 (典礼：太平洋) 例会日	
15 月		
16 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
17 水	こっとな倶楽部 10:00	
18 木		
19 金		キリスト教講座①18:30
20 土	掃除：楽山	
21 日	ミサ9:30 (典礼：白鳥)	
22 月		
23 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
24 水	こっとな倶楽部 10:00	
25 木		
26 金		キリスト教講座①18:30
27 土	ミサ 10:00 キリスト教講座②ミサ後	
28 日	集会祭儀 9:30 (典礼：楽山) ミニ大掃除の日	
29 月		
30 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
31 水	こっとな倶楽部 10:00	

2023典礼・掃除当番の地区表			
太字はミサです		12月	1月
1週	ミサ	楽山	蘭岳
2週	集会	蘭岳	大平様
3週	集会	大平様	白鳥
4週	集会	白鳥	楽山
5週		楽山	
	掃除	白鳥	楽山



クリスマス 年末年始のミサ 2023
12月17日(日) ミサ 9:30 共同回心式
12月24日(日) 集会祭儀 9:30 降誕夜半ミサ 20:00
12月25日(月) 降誕ミサ 9:30
12月31日(日) 聖家族の祝日 ミサ 9:30 2024
1月1日(月) ミサ 10:00
1月2日(火) ミサ 10:00
1月3日(水) ミサ 10:00

2023
12/10

ひとつになるう

カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行

カトリック東室蘭教会
CATHOLIC HIGASHIMURORIAN CHURCH
〒050-0073
室蘭市宮の森町4-9-7
☎0143-44-3851

洗礼者ヨハネが告げた『力強いメシア』の訪れ

日曜日の説教

あなたの言葉は「わたし」の道の光

2023年12月10日

B年
待降節第2主日
マルコ1・1~8

2023年12月10日
『千本イチョウ』（垂水市）の新聞記事から

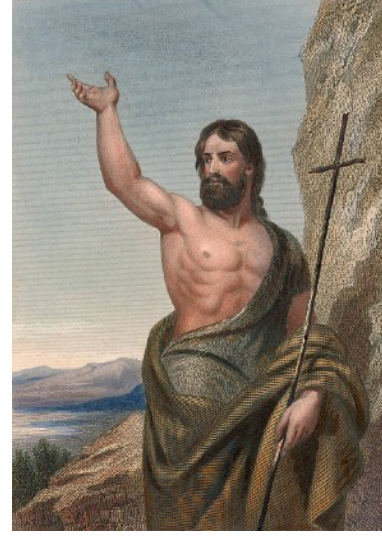
「垂水市の『千本イチョウ』のことである。近くに暮らす中馬吉昭さんと妻の信子さんが所有地に整備し、開放しているイチョウ園だ。『眺望が美しいこの地に桃源郷をつくる』。その一心で45年前から、荒地を整え、苗木を一本一本植えていった。成長した約1200本の木はこの時季、一帯を黄金色に染め、多くの人を引き寄せる観光名所となった。二人三脚で期間限定の絶景を作り出した夫妻はともに80代となったが、今なお草払いや実った銀杏の収穫作業に精を出す。その上、春にも足を運んでもらおうと、桜の植樹を進めている。吉昭さんによると、今季の色づきは例年より1週間ほど早い。でも、焦る必要はない。落ちた葉が足元につくりだす黄色いじゅうたんもまた風情がある。しばらくの間は、見に行つて損することはなさそうだ。」

（南日本新聞2023年12月5日「南風録」朝刊）

このコラム記事は、「損失回避」の心理が働く影響についての論評から始められています。つまり、「今なら半額」と期間を限定する売り文句につられ、無駄な買い物をしてしまった経験がある人は少なくないだろう、ということです。言われるまでもない

ことですが、わたしたちは得た喜びよりも、損した不満を強く大きく感じてしまい、くよくよして湿っぽくなっていきますよね。だからでしょうか。あなたの人生で一番記憶にある出来事、思い出はどんなものがありますか、と問えば、多くの人が悲しかった体験、辛かった出来事が多いですよね。

さらに感じていることがあります。テレビ等、幾多の商業映像を見るたびに思うんです。確かに嘘は言っていないんでしょうが、なんだか脅迫じみた(?) 宣伝文句が多いとは思いませんか。「脅迫じみた」とは大げさですが、「～～する恐れがあるのでこの薬は役に立ちます」とか、「～～の心配を緩和してくれます。この保険は・・・」です、とか。人間の心理の負の部分、弱い点を強調して宣伝文にし、製品を購入してくださいと呼びかけているような気がしてなりません。商業はどこも、いずこの国でもそうなんですかね。「負の部分」を言わないで宣伝してくれる会社があるとすれば、製品にもよりますが、どんな文言になるのかなと思ったりもします。



以前流行したキャッチコピー「オモテナシ」

いずれにしても、上記に記された内容は、あくまでも、消費者の立場に立った評価であると感じています。見て楽しむ場を提供してご苦労くださったお二人の立場は、この論評の中には言及されてはいないようです。でも、提供して下さる方がいるから、それを楽しめる特典に与っているのは確かです。「損をしない」「特典に与っている」限り、提供者の側からは完全な「奉仕」であるといえるでしょう。つまり、他の多くの人々が、その情景を見るために来て、楽しんでいる姿を見て、提供して下さっている人が幸せを感じる、これって「奉仕作業」でなくて何でしょうか。

2023年度第8回運営委員会 議事録

2023年12月3日(日)12:20~13:45

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

3. 報告:

3.1, 12月/1月の予定		
12月 3日(日)待降節	第一主日	ミサ(楽山地区典礼当番) 9:30 ミサ後、ライヤ神父様誕生日・霊名の記念日のお祝い 運営委員会
12月10日(日)待降節	第二主日	ミサ(蘭岳地区典礼当番) 9:30 小林神父様の黙想会、その後 金祝のお祝いパーティー
12月17日(日)待降節	第三主日	ミサ(太平洋地区典礼当番) 9:30
12月24日(日)待降節	第四主日	集会祭儀(白鳥地区典礼当番) 9:30 主の降誕祭夜半ミサ(白鳥地区典礼当番) 20:00 ミサ後 ミニパーティー (クリスマスキャロルなし)
12月25日(月)主の降誕		主の降誕ミサ(蘭岳地区典礼当番) 9:30 ミサ後 パーティー
12月31日(日)祝日聖家族		ミサ(楽山地区典礼当番) 9:30
1月 1日(月)神の母聖マリア		ミサ(太平洋地区典礼当番) 10:00 ミサ後、新年交礼会
1月 2日(火)・3日(水)		ミサ(太平洋地区典礼当番) 10:00
1月 7日(日)主の公現		ミサ(蘭岳地区典礼当番) ミサ後 運営委員会
1月14日(日)年間第二主日		集会祭儀(太平洋地区典礼当番) 壮年部・女性部 例会
1月21日(日)年間第三主日		ミサ(白鳥地区典礼当番) 9:30
1月28日(日)年間第四主日		集会祭儀(楽山地区典礼当番) 室蘭ブロック会議 東室蘭教会 13:30~

※毎週の行事(変更の場合あり)

- ・火曜日午前10時~OPC (パソコン教室)
- ・水曜日午前10時~ こっとな倶楽部
- ・金曜日午後6時30分~キリスト教講座①
- ・土曜日午前10時~ ミサ後第二、第四。キリスト教講座②

3.2 財務報告 現時点では特に問題はないが、月末の収支残高が減少していることが気になる。11月残では、一粒会費や人件費を送金すると、実質残高は10万円となる。収入支出とも予算を超えていないが、宗教活動支出が大きく超えている事は、検討が必要ではないかとの意見もあった。

4. 議事:

- 4.1 待降節の黙想会について
12月10日 講話 小林神父様 祝のお祝いパーティー 会費: 1,000円 花束用意
- 4.2 11月、12月からのミサ、集会祭儀の典礼当番について (4ページの表をご覧ください)
- 4.3 その他
- ・司祭の人事異動について、
2024年1月付 苦小牧・静内・東室蘭・登別の主任司祭; ライヤ・フランシス
 - ・山田さんから、教区宣教司牧評議会・一粒会規約(案)等の説明有
 - ・教会内外の清掃について (特にホール、廊下等のワックス塗布) 時期を考慮し5月頃実施予定

5. ミサ・集会祭儀の予定

12/3 ライヤ師、12/10 小林師、12/17 ライヤ師、12/24 集会、12/24夜半ミサ ライヤ師 12/25 ライヤ師、12/31ライヤ師 1/1~3 ライヤ師、1/7 ライヤ師、1/14 集会、1/21 集会、1/28 集会



そして、その道がいつもまっすぐであるように、一人ひとりの決意を示すために、人は「悔い改めの洗礼」を受けるのです。

日常わたしたちが言う「悔い改め」とは何を意味しているのでしょうか。「人としてあるべき道」へ戻ることでしょか。だとすれば、そもそも「あるべき道」とは何なのでしょう。人としての常識?だとすれば、人がいるだけの「べき道」が存在することになります。しかし、一人ひとりが納得すれば「悔い改め」が叶うものでしょうか。自己満足の何物でもないのではないか、という気がします。

人間の努力だけでは「転換」できない

聖書で言う「悔い改め」は、確かに、「生きる姿勢の転換」であることに変わりはありませんが、人間の努力によってその転換がなされるというよりも、神の業を知ってその方向へと変えられていくことを意味しています。したがって、神の業を知ることなしにはなしえない転換であるということです。そのしるしが、水による洗礼であるということが出来るでしょう。そして、罪の赦しを現実化するの、イエスの十字架なのです。

わたしたちの愚かさを忍耐し、利己的なわたしたちと一つになり、わたしたちの労苦と重荷を共に担うために誕生されたイエスに比べ、洗礼者ヨハネが説くイエスは、とても力強さを背景に持つ存在者として登場します。

イエスの生涯は、人類の救いのために「奉仕」の日々でした。人は何も「損をしない」のです。ただ、悔い改めて救いの時を「待つ」のです。

かつて、東京オリンピックを誘致するために、有名になったキャッチコピーがありました。「オモテナシ」がそれです。滝川クリステルさんが表現してくれたあの姿は、とても印象的でした。まさに、日本人の持ち味ではないでしょうか。要するに打算も入っていない、表面的な振る舞いではないということです。まさしく奉仕の心でいっぱい「おもてなし」です。だからこそ、それを受けた相手の方も無条件に喜ばれるんですよ。そこから、人誰もが持っている心の温かさが刺激され、初対面でもかかわりが深まっていくんですね。

洗礼者ヨハネが告げた"力強いメシア"の訪れ

イエスの心は実に温かな、それでいて力強い、知恵にみちた豊かさがありました。

イエスの誕生時は、なんとも弱弱しいイエスを感じさせることが重なっています。その力強さを見ることがありません。ヘロデ王の迫害を受け、エジプトへの逃避をしなければいけなくなったことは、なんとも弱弱しさが印象付けられます。ところが、洗礼者ヨハネは力強いメシアの訪れを告げます。

その始まりは荒れ野でした。荒れ野に現れた人、それが洗礼者ヨハネでした。

「悔い改め」とは?戻るべき「主の道」とは

ここでいう「主の道」とは、言うまでもないことですが、こちらからあちらへ歩いて移動する一般道のことではありません。主キリストへの道であり、主がわたしたちのところへ来てくださる道なのです。いわゆる、主キリストへと直接につながる「専用連絡通路」です。

困窮者支援物資へのお礼

東室蘭教会では、皆様の協力を得て、2022年から、札幌北1条教会内「みなづき会」へ物資を届けております。今まで4回発送できました。

「みなづき会」は超教派の支援団体で、カトリック教会の担当は箕島神父様です。月1回支援を必要とされている方に食事を提供しております。その他、その時に応じ、食事以外にも必要とされる物資を持ち帰りいただき、大変喜ばれております。

支援物資の回収は、教会玄関の電話台下の回収ボックスで行っておりますので、ご協力いただければ幸いです。小さな活動ですが、お役に立てている事は幸せな事です。

(担当: 香島、松岡)

